

←四日市ドーム
※平成9年完成

振り返るよん



ボクも生まれた
平成を

←こにゆうどうくん
※平成9年生まれ

INDEX

- 02 特集 平成を振り返る～四日市の31年～
- 08 四日市PLUS 四日市けいりんに行こう
- 09 四日市PLUS 病児保育室
- 10 きらり四日市人 丹羽文雄の語り部
- 12 ツナガル市民協働 / 命を守る防災
- 13 そらんぼ四日市へ行こう! / 四日市まちかどニュース
- 14 編集後記 / 広報紙で動画を見よう / 市の情報発信源

平成31年(2019年)4月5日発行
4月上旬号 NO.1522

編集・発行 / 四日市市役所
広報マーケティング課
代表電話(総合案内) ☎354-8104
〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
HP <https://www.city.yokkaichi.lg.jp>

ちょうど母の介護をしていた時期に「厭がらせの年齢」*を読みましたが、現代に通じるこの作品を終戦直後の時代に書いた丹羽文雄は、本当にすごい人だと思いました。



※昭和22年発表。現代大きな社会的課題となっている高齢者問題をいち早く取り上げた作品

■作品だけではない丹羽文雄の魅力 (水越さん)

丹羽文雄の名前は子どもの頃から知っていましたが、大学1年生の頃、郷里の作家について書くという課題を機に初めて丹羽作品を読みました。

丹羽作品は「生母もの」から「マダムもの」へ、最終的には宗教的なものへと移っていきます。その根底にあるのは、「人間はどう生きるか」ということ。「生きる」とは何かを突き詰める一丹羽文雄の魅力はそこにあると思います。

それだけではなく、丹羽文雄は後輩の面倒をよくみました。私費を投じて同人誌をつくり、後進を育成したのです。さらに、文学者のための社会保険制度を創設しました。単に売ればいいということではなく、還元していくという人間性に魅力を感じますね。

■語り部をやってきてよかった (山本さん)

自分の子どもの手が離れたとき、図書館で「日日の背信」という作品を読んで衝撃を受けました。人に頼まれて語り部に参加したときはその印象しかなかったのですが、研修でいろいろと丹羽文雄について教えてもらううちに、物事を深く考えるすごい人物だと感じ



4月放送のCTY「ちゃんねるよっかいち」やCTY-FM「よっかいちわいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)

るようになりました。

今は「語り部をやってきてよかった」と思います。語り部をしていると、いろいろな人が来てお話しするので、人生の勉強になります。

もっと多くの人に丹羽文雄について知ってほしいですね。子どもに内容まで説明するのは難しいですが、「こういう人がいたんだ」と名前だけでも記憶に留めておいてほしいです。そして、いつか大人になって思い出したときに読んでもらえるといいですね。

■丹羽文雄とは

明治37年に四日市市浜田で誕生。生家は寺でしたが、文学への志を断ちがたく、生母をモデルとした「鮎」の好評を機に僧職を捨て上京しました。

昭和10年代には時代を代表する中堅作家としての地位を築き、その後、半世紀にわたって第一線で活躍しました。

昭和52年に文化勲章を受章。その翌年には四日市市名誉市民となりました。



【代表作】

- ・「鮎」(昭和7年)
- ・「菩提樹」(昭和30年連載開始)
- ・「親鸞」(昭和40年連載開始)
- など

丹羽文雄記念室行事 作品朗読会

「古里の寺」を朗読し、記念室を案内します。

時 4月20日(土) 10:00~12:00

(当日、先着順)

所 1階 講座室

定 50人 料無料



有料広告掲載欄

ええやん♥里親
里親制度
説明会

子どもたちのHAPPYのために、まずは一步。里親を「知る」「応援する」・里親に「なる」わたしたちができることから始めてみませんか?

日時: 4月14日(日) 14:00~16:00 (受付開始13:30~)

場所: 四日市市勤労者・市民交流センター 本館2階 研修会議室 (四日市市日永東1丁目2-25 中央緑地内)

児童養護施設・乳児院では、職員(児童指導員・保育士・看護師・心理士)専任中です。お問い合わせは、エスベックス四日市本館(モトヒロ)まで電話059-346-1371

参加無料

事前申込不要

主催・問い合わせ 社会福祉法人アパテイア福祉会
児童家庭支援センターまお
080-6983-6863(9時~16時)
mao@apatheia.jp

里親制度 まお 検索

助成: 日本財団 共催: 三重県 後援: 四日市市

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。